



当社の本社

○本社所在地：静岡県富士宮市山宮2344番地

○事業概要：産業廃棄物処理業及び金属リサイクル業

○常時使用する従業員：72名
(2025年8月時点)

○現在の売上高：32億円
(2025年8月期)

○法人番号：8080101011897

○Web：
<https://kabu-yamamoto.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山本 文洋

限りある資源の有効活用と環境保護のハーモニーを追求

当社は、産業廃棄物処理を通じて産業社会と地球環境の保護に貢献することを使命としています。100億企業への成長に向け、廃棄物を燃料と資源に変えるRPF（廃棄物固形燃料）の製造に参入し、顧客には適正処理と再資源化による安心と環境価値を提供します。地域社会には資源循環、雇用創出、環境負荷の低減を通じて貢献し、従業員には成長の機会と処遇の改善、安全で誇りを持てる職場を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2033年に売上高100億円を達成することを目標とし、年率15.2%程度の継続的な成長を目指す。
- ・RPF製造に参入し、廃プラスチックが占めている焼却枠を単価の高い処理へ振り替える。
- ・金属リサイクル、小型家電リサイクル、再資源化事業等を成長領域と位置付け、廃棄物を単に処理するだけでなく、資源として循環させる高付加価値型の事業展開を推進する。

課題

- ・焼却枠を低単価の廃プラスチックが占めており、単価の高い処理へ振り向けられていない。
- ・受入量の増加に対応する保管体制、運搬体制、作業人員の確保と、24時間稼働を担う人材の育成が必要である。
- ・100億企業にふさわしい育成、安全管理、法令遵守体制の整備が必要である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・廃プラスチック等を原料としたRPFの製造に着手し、再資源化・燃料化事業を新たな成長分野として確立する。
- ・RPF化で空いた焼却枠を、感染性廃棄物と小型家電の破碎残渣の処理へ振り向け、受入構成を高単価な領域へ入れ替える。
- ・廃棄物を単に処理するだけでなく、資源・燃料として有効活用する高付加価値型の事業展開を推進する。
- ・同業他社や関連事業者とのM&Aも視野に入れ、処理拠点、許認可、人材、顧客基盤を拡大する。

実施体制

- 【社内体制】
 - ・代表取締役が全体を統括し、設備投資、RPF製造事業、M&A方針の意思決定を行う。
 - ・リサイクル部にRPF課を新設し、環境企画部・総務部・管理部と連携して、製造の立上げ、許認可、法令遵守、人材育成を推進する。
- 【社外体制】
 - ・設備メーカーと連携し、RPF製造設備の選定と導入を進める。
 - ・金融機関、土業、M&A専門家と連携し、資金調達、M&A検討、販路開拓、受入量の拡大を進める。